

## たつた三人の剣道部

— 田代中女子剣道部  
全国に名を轟かす —



田代中女子剣道部は、3年生の安田芽衣さん、舞原由衣さん、2年生の下八重菜津希さんのたつた三人しか部員がいません。その三人が県下に、全国に田代中の名を轟かせました。

通常、剣道の団体戦は5人1チームで行われます。単純に三勝以上した方が勝ち、引き分けがあった場合はポイント数、つまり、一本取った数、取られた数が勝敗に関わってきます。田代中女子剣道部は三人しかいない為、0勝2敗からの試合開始と一敗も許されない状況のまま地区大会に臨み、見事決勝まで勝ち上がりました。決勝戦でも1人も負けはなかったものの、2勝2敗1分けのポイント数で準優勝に輝きました。

これだけでも大変な快挙ですが、3年生二人は、県大会個人戦で一位二位を独占し揃って全国大会出場を果たし、そこでも安田さんは準優勝と言わずばらしい成績を収めました。

その田代中女子剣道部にスポットをあててみました。

親やお姉さんの影響で剣道を始めた安田さんと舞原さんとはともに剣道暦八年、見学してみても剣道に興味を持った下八重さんは2年目だそうです。剣道に感じる魅力は三人さまざまで、姿勢がよくてかっこいいと安田さんが言えば、舞原さんは一本決めるのが楽しい、下八重さんはスピーディーな展開やはっきりと技が判るところが魅力だそうです。

三人とも部員三人でいるんな大会で優勝したり、逆に三人しかいない為

### 顧問の眼

女子部員が三人しかいない中、生徒たちは本当に良く頑張ってくれました。

地区大会、5人对3人のため一人も負けられない・一本も取られてはいけないという圧倒的不利の状況で勝ち進み、決勝まで進みました。しかし、決勝では惜しくも一本差で負けてしまいました。彼女たちは悔しさをぐっとこらえ、目を真っ赤にしながら閉会式に並んでいました。しかし、今思えば、あの時の悔しさがあったからこそ、県大会個人戦1位2位独占・二人揃って全国大会出場という快挙を成し遂げたのだと思います。

「気持ちが強ければ負けられない」ということを改めて生徒から教えてもらいました。



田代中剣道部 顧問 中原 義秀

悔しい思いをしたことが一番印象に残っているのかと思いましたが、もちろんそれも大切な思い出としてあり、それよりも一人の悩みを三人で分かち合ったり、遠征での宿泊や普段のいろいろなことが思い出に残っていると話してくれました。三人の素質や努力は当然ですが、それとは別に三人仲の良いチームワークこそが一番の強さなのではないかと感じました。

最後に、今後の目標は全国制覇と力強く語ってくれました。